

エコ・クッキングで エコな料理を体験

8月24日、東部公民館で親子を対象としたエコ・クッキング講習会が開催され、6組12人の親子が参加しました。当日はエコ・クッキングについての講義の後、講師の指導をうけながら、ドライカレー、イタリアン卵スープ、キャロットオレンジ寒天の3品を作りました。参加者の子どもたちは普段からお手伝いをしている子も多いようで、てきぱきと作業を進めている様子が見られました。

試食後のアンケートでは、エコに配慮した「買い物」「料理」「片づけ」の様々な方法について「知らなかった」、「やってみたい」との回答や、「楽しかった」などの感想が多く見られ、環境に配慮したエコ・クッキングを楽しみながら、学んでいたようでした。

エコ・クッキングとは

エコ・クッキングとは、東京ガス（株）が提唱しているもので、地球に暮らす私たち一人ひとりが、環境のことを考えて、「買い物」「料理」「片づけ」をすることです。

食材を買ったり、水やエネルギーを使ったり、ごみを出したりと環境問題の縮図的存在である「食」のシーンにおいて、私たちにできることを一緒に考えていきます。

喫煙マナーポスター&標語 を展示しています

市内在住・在学の小中学生を対象として「たばこについてのめいわく」をテーマにポスターと標語を募集しました。子どもたちの目から見た大人のマナーについてポスター70作品、標語14点の作品が寄せられました。

応募いただいた全作品は、9月15日から9月24日正午まで文化会館たづくり11階みんなのひろばで展示しました。来場者には、どの作品がよかったかを投票いただき、入賞作品と特別賞作品を決定します。

この入賞作品と特別賞作品の中からポスターや啓発品に使用するデザインを選び、11月に実施する喫煙マナーアップキャンペーンで広く配布させていただきます。



展示の様子

雨水浸透ますの設置にご協力ください

雨水浸透ますとは屋根にふった雨を、雨どいを通して地下に浸透させるますのことです。雨水浸透ますを設置することにより、次のような効果が期待されます。

【雨水浸透ますの効果】

- ・地下水や湧き水を豊かにします。
- ・地熱を下げて自然豊かな地球に戻します。
- ・大雨による河川の急激な増水をやわらげます。
- ・地盤沈下を防止します。

対象地域／調布市内

設置対象／既存の一般住宅で屋根面積50㎡以上で設置できます。

設置場所／雨どいの近くで、実際には1㎡程度の広さがある場所。（小型サイズの浸透ますも設置できます）

設置費／無料（市の予算で設置します）

施工／調布管工土木事業協同組合指定工事店
※ご協力いただける方は、環境政策課へご連絡ください。

豊かな湧き水づくりに、皆様のご協力をお願いします。



ちょうふ環境にゆ〜す

未来へつなぐ調布の環境

●発行：調布市環境部環境政策課

●連絡先：電話：042-481-7086（直通） F A X：042-481-7550

メールアドレス：kankyuu@w2.city.chofu.tokyo.jp

※市ホームページでも、環境情報を提供しています（トップページ左下からリンクしています）。

2010年10月

第6号

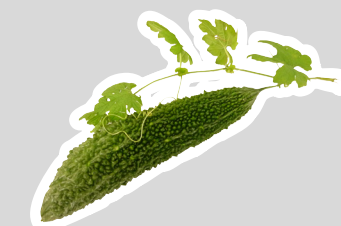
刊行物登録番号
2010-137



市では昨年に引き続き、今夏も市役所南側（2階）・西側（2階～3階）などで、緑のカーテン（壁面緑化）を実施しました。この緑のカーテンは、夏の日差しを建物の外側で遮り、さらに涼しい風を葉の隙間からを通してくれるだけでなく、見た目にも清涼感を与えてくれます。最近では、地球温暖化への意識の高まりなどから、壁面緑化への周知度もあがり、市内の住宅でも壁面緑化を実施している様子が見えます。まだ実施されていない皆さんも、来年はご自宅で取り組んでみてはいかがでしょうか。

緑のカーテンを実施した公共施設

- ・市役所本庁舎
- ・佐須児童館
- ・東部公民館
- ・緑ヶ丘小学校
- ・国領小学校
- ・布田小学校
- ・第七中学校
- ・子ども発達センター
- ・多摩川自然情報館



このニュース誌の感想やご意見がありましたら、お気軽に環境政策課へお寄せください。

多摩川自然情報館展示室がオープンしました

調布市多摩川自然情報館は、多摩川を中心とした自然環境を学べる展示室や学習室を備えた施設です。展示室には多摩川を中心とした調布の自然環境や生きものについての説明のパネルがあります。

オープニングイベントを開催しました

7月19日に、展示室がオープンし、当日開催したオープニングイベントには、親子連れなど552人の方が来場されました。

展示室に設置してある、「おさかなコーナー」と「こんちゅうコーナー」は子どもたちにとっても人気の場所となりました。

また、当日は記念イベントとして、鳥の調査や植物の調査をしました。暑くて鳥は全然いないと思っていましたが、ツバメやアオサギなどたくさんの鳥を見ることができました。さらに、多摩川の川原でもたくさんの植物を見ることができました。その後、学習室に戻り「多摩川の水」の勉強もしました。

このほか、屋外で実施したふれあい移動水族館は、子どもたちにとっても人気がありました。



多摩川自然情報館概要

開館時間／午前9時～午後5時
所在地／調布市染地3-8-26（旧あゆみ学園）
休館日／年末年始等

☆学習室もご利用ください☆

環境学習関連の図書や、パネル展示などがあります。平日は貸出を行い、土・日曜日、祝日は環境学習スペースとして、一般開放しています。

平日貸出料金／

	午前 (午前9時～正午)	午後 (午後1時～5時)
市内在住 // 在勤 // 在学者	300円	400円
上記以外	400円	500円

使用申請／

月～金曜日（土・日曜日、祝日、臨時休館日除く）の午前9時～午後5時に多摩川自然情報館の1階共用部分で受付
①環境に関する学習目的：使用日の2か月前から受付
②その他の目的：使用日の1か月前から受付

調布水辺の楽校の活動

8月28日に、今年度第2回目となる調布水辺の楽校のイベント「アドベンチャー in 多摩川2010」が開催されました。参加したのは、31人の流域7小学校の4年生と保護者30人で、多摩川鉄橋下付近で「川流れ」「ガサガサ(生き物観察)」「E-ボート」の体験をしました。

天候もよく、とても暑い一日となりましたが、子どもたちにとっては、夏休み最後の楽しい思い出となりました。



当日の様子

環境モニター活動

今年度第4回の環境モニター活動は、9月4日に入間町にあるNTT東日本研修センタ内で、植物観察を実施しました。敷地内の雑木林は、下草刈りなどの管理をしっかりと実施されていることもあり、大きく成長した草本の個体が少ないエリアもありましたが、周辺の雑木林ではあまり見られず、園芸などで人為的な持ち込みも考えにくいという、比較的珍しい種類の植物が観察できました。また、雑木林の階層性（高木、中低木、草本など、一つの林の中での植物の高度の違い）が観察できるなど、今回の活動は、かつての国分寺崖線の面影を残す雑木林での観察となりました。



当日の様子

調布こどもエコクラブの活動

第2回 多摩川源流キャンプツアー

7月22日・23日に1泊2日で、今年度2回目のイベント「多摩川源流体験ツアー」が開催され、小学3～5年生の希望者13人とサポーター2人が、このツアーに参加し、調布を流れる多摩川の源流がある山梨県小菅村を訪ねました。

ツアーでは、講師の指導のもと、沢登りなど川の水に触れ、様々な体験を行いました。ほかに羽村堰や白丸ダム（魚道）など私たちの暮らしを支える水施設を見学したり、つかみどりしたニジマスを手で調理したり、さらには、枝葉などを材料としたクラフトを行ったりと、調布ではなかなかできない様々な自然体験を行いました。



マスのつかみどりの様子（第2回）



源流体験の様子（第2回）



水辺ガサガサの様子（第3回）

第3回 水辺ガサガサ（水辺の生きもの観察）

9月11日、市内の多摩川市民広場近くの多摩川をフィールドとして、第3回目の活動が行われ、参加した31人の小学生たちが、講師の指導のもと、魚をとる手網を使った生きもの採集「水辺ガサガサ」にチャレンジしました。

始めに各自で網を使って魚とりを行い、体験の後半では、子どもたち全員が協力して生きものを下流の追い込む方法で、生きもの採集を体験しました。

残念ながら、あまりたくさんの生きものを捕まえることはできませんでしたが、釣り人に提供いただいたアユや、めずらしい生きものとなりつつあるメダカなど、多様な生きものを観察することができました。

平成22年度雑木林塾開塾

市では、昭和30年ごろまで生活と農業に深くかかわってきた里山の雑木林の現状を知り、市内に残る樹林の維持管理に役立つ知識と技能を身につけることを目的に毎年、雑木林塾を実施しています。今年度は、7月に塾生を募集し15人の会員でスタートしました。

なお、この雑木林塾は市が主催し、ちょうふ環境市民会議のメンバーが企画・運営しています。

第1回 ガイダンス・雑木林の歴史と現状

平成22年度雑木林塾（全6回）が8月8日に開塾しました。

午前中は開塾式に続き、調布の雑木林の歴史と現状をテーマに雑木林の特徴や成り立ちなどを学びました。昼食をはさんで午後には、実際に野外での観察活動ということで、佐須地域から深大寺自然広場（通称カニ山）の見学を行いました。

樹木について初心者の受講も多かったのですが、参加者の皆さんは講師の説明に熱心に耳を傾けていました。



座学の様子（第1回）

第2回 雑木林の生態系と現状について

第2回目講座は、9月12日に開催され、雑木林の生態系について学習しました。

午前中は、佐須ふれあいの家で、雑木林の生態についての座学による講座で、写真とともに生きものの種類や特徴、そして生態系豊かな雑木林のあるべき姿などについて学習しました。

カニ山での昼食後は、そのカニ山（深大寺自然広場）の生きものを、実際観察し、どんな生きものがあるかを確認しました。



カニ山見学（第2回）